

# ステークホルダーダイアログ

「10年後のありたい姿」の実現に向け、当社グループはステークホルダーの皆さまとの対話を重視し、各ステークホルダーの期待・関心・ニーズを洗い出したうえで、それら1つひとつに対し当社グループが培ってきた強みで応えてきました。丁寧な対話を重ね、2023年度には以下のような新たな取り組みも開始しています。中長期的な企業価値向上のため、今後もこうした取り組みを続けていきます。

ステークホルダー	ステークホルダーの期待・関心・ニーズ	三菱HCキャピタルの強み	対話方法・機会	2023年度の実績
 <b>お客さま</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ファイナンスを起点とした多様なサービス提供</li> <li>● 設備投資や資金調達の支援</li> <li>● イノベーション創出</li> <li>● 事業遂行のうえで生じる環境負荷の低減（カーボンニュートラルの実現など）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 主要株主をはじめとする多様な企業とのパートナー連携</li> <li>● お客さまの課題解決力（多種多様な事業を展開）</li> <li>● 資金提供力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 訪問およびオンラインによる営業活動</li> <li>● 当社ホームページでの情報発信</li> <li>● 問い合わせ窓口（電話・メール）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 再生可能エネルギーのアグリゲーション事業を開始</li> <li>● 企業のEV導入における統合型サービスの提供を開始</li> <li>● リース・割賦取引を通じたグリーンファイナンスとしてGX Assessment Leaseを開発（2024年7月より提供を開始）</li> </ul>
 <b>従業員</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自己成長・働きがい</li> <li>● 労働環境の整備</li> <li>● 給与・賞与の源泉、勤務先としての持続性</li> <li>● 労働条件の向上</li> <li>● ダイバーシティ、エクイティ&amp;インクルージョン</li> <li>● 人権保護</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多様な人材</li> <li>● 柔軟な働き方を支援する豊富な人事制度</li> <li>● 多様な事業による自己実現、自己成長のための機会提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人事面談</li> <li>● 社内イントラネット</li> <li>● 社内報</li> <li>● エンゲージメントサーベイ</li> <li>● キャリアイベントリー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ブログを活用した社長から従業員へのメッセージ発信</li> <li>● 経営幹部による従業員向けのタウンホールミーティングの実施</li> <li>● 旧両社の人事制度統一</li> <li>● 社内起業プログラムにおいて第1期の最終審査通過案件を決定、事業会社設立に向けて本格始動</li> </ul>
 <b>パートナー企業</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● パートナーシップによる自社事業の強化</li> <li>● イノベーション創出</li> <li>● 中長期的な取引相手としての財務信用度</li> <li>● 自社製品・サービスの販売促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国内トップクラスの多様な業界・地域における顧客基盤</li> <li>● 国内外における多種多様なアセットの保有</li> <li>● リース業を起点としたサービス・ソリューション提供力</li> <li>● 事業運営・投資スキル</li> <li>● 資金提供力（金融面からのサポート力）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 訪問およびオンラインによる営業活動</li> <li>● 当社ホームページでの情報発信</li> <li>● 問い合わせ窓口（電話・メール）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新サービスの創出や新事業開発の促進を目的とする、スタートアップ企業を対象とした総額100億円の投資枠「イノベーション投資ファンド」を設立し投資を実行</li> <li>● ロボティクス分野における新規事業の開発・推進を加速するため、新たな専門組織「ロボティクス事業開発部」を設置（2024年4月1日）</li> </ul>
 <b>株主（エクイティ投資家）、 債券投資家、金融機関</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 適切な情報開示および市場との対話強化</li> <li>● 中長期的な安定成長</li> <li>● 持続的なキャッシュフローの創出</li> <li>● 安定的かつ継続的な配当</li> <li>● 健全な事業運営</li> <li>● ガバナンスの強化</li> <li>● ESG投資の拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 分散が効いた事業ポートフォリオに基づく業績の安定感</li> <li>● 外部機関による高格付の取得</li> <li>● 主要株主との連携による資金調達力</li> <li>● 強固な財務内容・財務体質</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 株主総会</li> <li>● 決算説明会</li> <li>● 投資家向け説明会や各種ミーティング</li> <li>● 東京証券取引所の情報サービス</li> <li>● 当社ホームページでの情報発信</li> <li>● 各種メディア発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 当期純利益目標の達成ならびに過去最高益の更新</li> <li>● 25期連続増配の達成</li> <li>● サステナブルボンド・フレームワークの策定ならびにサステナビリティボンドの発行</li> </ul>
 <b>環境・社会</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 脱炭素社会の実現</li> <li>● サークュラーエコノミーの実現</li> <li>● 人権保護</li> <li>● 地域社会との共生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国内トップクラスの再生可能エネルギー発電事業者としての、当該事業に係る豊富な知見・スキルや幅広いネットワーク</li> <li>● 「モノを導入する」ところから「モノの使用を終了する」までの各ライフサイクルステージにおけるソリューション提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ESGデータブック</li> <li>● 当社ホームページでの情報発信</li> <li>● 社会貢献活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● デンマークの再生可能・次世代エネルギー事業会社 European Energy への出資を決定（2024年4月出資完了）</li> <li>● さまざまな中古機械（産業・工作機械、理化学機器、半導体製造設備、医療機器など）の買い取り・販売</li> <li>● 「人権対応プロジェクト」にて人権デュー・ディリジェンスにおける制度設計を行い運用を開始</li> <li>● 各種社会貢献活動ならびにボランティア等の実施</li> </ul>